

令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 宮城県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	精神医療センター（地方独立 行政法人宮城県立病院機構）	2	大崎市	大崎市民病院鹿島台分院	20
-	がんセンター（地方独立行政 法人宮城県立病院機構）	3	蔵王町	蔵王町国民健康保険蔵王病院	21
-	こども病院（地方独立行政法 人宮城県立こども病院）	4	川崎町	国民健康保険川崎病院	22
仙台市	市立病院	5	丸森町	丸森町国民健康保険丸森病院	23
石巻市	石巻市立病院	6	涌谷町	涌谷町国民健康保険病院	24
石巻市	石巻市立牡鹿病院	7	美里町	美里町立南郷病院	25
塩竈市	塩竈市立病院	8	女川町	女川町立病院	26
気仙沼市	気仙沼市立病院	9	南三陸町	南三陸病院	27
気仙沼市	気仙沼市立本吉病院	10	白石市外二町組合	公立刈田総合病院	28
登米市	登米市立登米市民病院	11	黒川地域行政事務組合	公立黒川病院	29
登米市	登米市立米谷病院	12	加美郡保健医療福祉行政 事務組合	公立加美病院	30
登米市	登米市立豊里病院	13	みやぎ県南中核病院企業 団	みやぎ県南中核病院	31
栗原市	栗原市立栗原中央病院	14			
栗原市	栗原市立若柳病院	15			
栗原市	栗原市立栗駒病院	16			
大崎市	大崎市民病院	17			
大崎市	大崎市民病院鳴子温泉分院	18			
大崎市	大崎市民病院岩出山分院	19			

病院事業決算状況 (令和3年度)		都道府県名
		宮城県
市町村・組合名		
病院名	精神医療センター (地方独立行政法人宮城県立病院機構)	
施設及び業務概況等		
法適用区分	特殊診療機能	
病院区分	不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院
診療科数	-	指定病院の状況
許可公営企業		看護配置
DPC対象病院	-	経営形態 直営
		類似区分 精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ) - - - -				

項目	数値
人口(人)	2,301,996
決算規模(千円)	1,194,611,052
標準財政規模(千円)	489,316,337
財政力指数	0.59731
経常収支比率(%)	89.0
健全化 実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率 実質公債費比率(%)	11.2
将来負担比率(%)	146.9

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,337			
1 経常収益	5,337			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	5,337			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,337			
2 経常費用	5,337			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	106.2
材料費	-	-	25.3	8.8
(うち藥品費)	-	-	13.3	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	1.4
減価償却費	-	-	9.0	14.3
経費	-	-	22.5	34.9
(うち委託料)	-	-	12.5	19.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	5,337			
(うち支払利息)	5,337	-	1.2	2.4
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	102.7
医業収支比率	-		85.1	60.7
修正医業収支比率	-		82.2	58.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	31.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	55.2
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	31.1
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	70.6

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

項目	数値
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名			
病院名 がんセンター(地方独立行政法人宮城県立病院機構)			
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,301,996
決算規模(千円)	1,194,611,052
標準財政規模(千円)	489,316,337
財政力指数	0.59731
経常収支比率(%)	89.0
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
将来負担比率(%)	146.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	40,499			
1 経常収益	40,499			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	40,499			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	40,499			
2 経常費用	40,499			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	60.7
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	11.7
減価償却費	-	-	9.0	9.2
経費	-	-	22.5	21.2
(うち委託料)	-	-	12.5	11.9
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	40,499			
(うち支払利息)	40,499	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	106.9
医業収支比率	-		85.1	85.8
修正医業収支比率	-		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	96.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名			
病院名 こども病院(地方独立行政法人宮城県立こども病院)			
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,301,996	
決算規模(千円)	1,194,611,052	
標準財政規模(千円)	489,316,337	
財政力指数	0.59731	
経常収支比率(%)	89.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	146.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	75,881			
1 経常収益	75,881			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	75,881			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	75,881			
2 経常費用	75,881			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	-	-	9.0	10.4
経費	-	-	22.5	28.7
(うち委託料)	-	-	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	75,881			
(うち支払利息)	75,881	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	105.7
医業収支比率	-		85.1	80.6
修正医業収支比率	-		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	90.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)

都道府県名
宮城県

特殊診療機能欄
指定病院の状況欄

ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 ヘ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

市町村・組合名	仙台市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	52,286 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	26	指定病院の状況	救臨感災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	467	73.8	79.5	86.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	10.8	14.5	30.7
感染症	8	98.0	67.8	2.2
計	525	68.2	73.1	79.6
平均在院日数(一般病床のみ)		9.1	9.6	9.5

人口(人)	1,096,704
決算規模(千円)	626,496,644
標準財政規模(千円)	294,579,716
財政力指数	0.90
経常収支比率(%)	96.6
健全化 判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	6.9
将来負担比率(%)	59.1

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,671,073			
1 経常収益	20,595,644			
(1) 医業収益	15,520,859			
(うち修正医業収益)	14,560,056			
入院収益	10,326,481			
外来収益	4,071,968			
診療収入計	14,398,449			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,122,410			
(うち他会計負担金)	960,803			
(2) 医業外収益	5,074,785			
(うち国・都道府県補助金)	3,738,653			
(うち他会計補助・負担金)	968,104			
(うち長期前受金戻入)	123,481			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	75,429			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,737,495			
2 経常費用	18,606,714			
(1) 医業費用	17,648,556			
職員給与費	9,665,398	62.3	60.2	54.0
材料費	4,094,271	26.4	25.3	29.9
(うち薬品費)	1,869,813	12.0	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,224,458	14.3	11.6	13.4
減価償却費	1,192,825	7.7	9.0	8.1
経費	2,625,158	16.9	22.5	19.6
(うち委託料)	1,841,770	11.9	12.5	12.7
研究研修費	46,665			
資産減耗費	24,239			
(2) 医業外費用	958,158			
(うち支払利息)	249,247	1.6	1.2	1.0
(3) 特別損失	130,781			
損益	1,988,930			
純損益	1,933,578			
累積欠損金	8,014,503			
経常収支比率	110.7		105.6	105.8
医業収支比率	87.9		85.1	89.1
修正医業収支比率	82.5		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.4		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	9.3		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	100.3		93.6	97.0

区分	決算額
資産合計	35,628,838
1 固定資産	26,215,793
(1) 有形固定資産	25,195,467
(2) 無形固定資産	1,020,326
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	9,413,045
(1) 現金及び預金	6,430,762
(2) 未収金及び未収収益	2,920,171
(3) 貸倒引当金()	10,451
(4) 貯蔵品	71,361
3 繰延資産	-
負債合計	28,417,471
1 固定負債	23,559,471
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,917,409
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,642,062
(7) 一歩償務	-
2 流動負債	3,396,778
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,352,302
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	555,727
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,462,698
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,461,222
(1) 長期前受金	2,393,515
(2) 長期前受金収益化累計額()	932,293
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,211,367
1 資本金	15,225,870
2 剰余金	-8,014,503
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-8,014,503
負債・資本合計	35,628,838
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,877,156	1,928,907
資本勘定繰入	506,264	709,859
計	2,383,420	2,638,766

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

累積欠損金比率(%)	51.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (令和3年度)

都道府県名
宮城県

市町村・組合名	石巻市		
病院名	石巻市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,921 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	12	指定病院の状況	救感輪
許可公営企業	-	看護配置	10:1
DPIC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	140	73.5	69.9	74.0
療養	40	79.1	72.7	76.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	74.8	70.5	74.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	16.3	18.2

項目	値
人口(人)	140,151
決算規模(千円)	156,977,288
標準財政規模(千円)	40,389,966
財政力指数	0.54
経常収支比率(%)	97.5
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.5
将来負担比率(%)	37.8

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,775,983			
1 経常収益	4,779,377			
(1) 医業収益	2,796,932			
(うち修正医業収益)	2,605,034			
入院収益	1,881,940			
外来収益	583,510			
診療収入計	2,465,450			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	331,482			
(うち他会計負担金)	191,898			
(2) 医業外収益	1,982,445			
(うち国・都道府県補助金)	391,525			
(うち他会計補助・負担金)	683,734			
(うち長期前受金戻入)	845,303			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,996,606			
(うち他会計繰入金)	96,166			
総費用	4,581,243			
2 経常費用	4,571,242			
(1) 医業費用	4,382,378			
職員給与費	1,978,043	70.7	60.2	66.7
材料費	492,113	17.6	25.3	17.8
(うち薬品費)	139,515	5.0	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	352,598	12.6	11.6	9.2
減価償却費	883,094	31.6	9.0	10.4
経費	1,021,045	36.5	22.5	28.7
(うち委託料)	633,048	22.6	12.5	13.3
研究研修費	5,767			
資産減耗費	2,316			
(2) 医業外費用	188,864			
(うち支払利息)	59,947	2.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	10,001			
損益	208,135			
純損益	2,194,740			
累積欠損金	3,548,637			
経常収支比率	104.6		105.6	105.7
医業収支比率	63.8		85.1	80.6
修正医業収支比率	59.4		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	18.3		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	31.3		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	14.3		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	85.4		93.6	90.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

区分	決算額
資産合計	12,339,325
1 固定資産	10,948,722
(1) 有形固定資産	10,948,722
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,390,603
(1) 現金及び預金	652,380
(2) 未収金及び未収収益	700,340
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	37,883
3 繰延資産	-
負債合計	11,496,908
1 固定負債	741,481
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	504,112
(2) その他の企業債	224,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	13,369
2 流動負債	556,027
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	72,056
(2) その他の企業債	56,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	149,108
(6) リ一ス債務	4,966
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	266,772
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	10,199,400
(1) 長期前受金	16,426,798
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,227,398
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	842,417
1 資本金	4,762,837
2 剰余金	-3,920,420
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,920,420
負債・資本合計	12,339,325
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	613,892	971,798
資本勘定繰入	252,662	388,913
計	866,554	1,360,711

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

項目	値
累積欠損金比率(%)	124.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)			都道府県名	
			宮城県	
市町村・組合名	塩竈市			
病院名	塩竈市立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	10,495 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	17	指定病院の状況	救	臨
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上～200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	161	73.0	71.3	78.7
療養	-	-	-	49.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	161	73.0	71.3	75.9
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	13.0	15.0

設立団体の状況	
人口(人)	52,203
決算規模(千円)	27,113,104
標準財政規模(千円)	12,853,495
財政力指数	0.51
経常収支比率(%)	91.6
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	4.6
将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,939,509			
1 経常収益	2,939,493			
(1) 医業収益	2,620,558			
(うち修正医業収益)	2,417,210			
入院収益	1,559,822			
外来収益	707,151			
診療収入計	2,266,973			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	353,585			
(うち他会計負担金)	203,348			
(2) 医業外収益	318,935			
(うち国・都道府県補助金)	21,651			
(うち他会計補助・負担金)	214,618			
(うち長期前受金戻入)	66,383			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	16			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,928,471			
2 経常費用	2,926,331			
(1) 医業費用	2,824,850			
職員給与費	1,774,214	67.7	60.2	66.7
材料費	361,312	13.8	25.3	17.8
(うち薬品費)	210,241	8.0	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	121,537	4.6	11.6	9.2
減価償却費	104,490	4.0	9.0	10.4
経費	579,135	22.1	22.5	28.7
(うち委託料)	305,981	11.7	12.5	13.3
研究研修費	5,628			
資産減耗費	71			
(2) 医業外費用	101,481			
(うち支払利息)	1,106	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	2,140			
損益	13,162			
純損益	11,038			
累積欠損金	3,411,896			
経常収支比率	100.4		105.6	105.7
医業収支比率	92.8		85.1	80.6
修正医業収支比率	85.6		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	14.2		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.9		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	14.2		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	86.2		93.6	90.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,926,106
1 固定資産	1,420,106
(1) 有形固定資産	1,419,960
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	506,000
(1) 現金及び預金	88,152
(2) 未収金及び未収収益	411,035
(3) 貸倒引当金()	1,090
(4) 貯蔵品	7,903
3 繰延資産	-
負債合計	1,732,456
1 固定負債	633,974
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	633,974
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	491,453
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	70,083
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	70,500
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	140,000
(8) 未払金及び未払費用	208,974
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	607,029
(1) 長期前受金	1,048,664
(2) 長期前受金収益化累計額()	441,635
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	193,650
1 資本	3,593,643
2 剰余金	-3,399,993
(1) 資本剰余金	11,903
(2) 利益剰余金	-3,411,896
負債・資本合計	1,926,106
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	350,123	417,966
資本勘定繰入	35,859	38,484
計	385,982	456,450

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	130.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名 宮城県	
市町村・組合名	気仙沼市		
病院名	気仙沼市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	26,908 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感災輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	336	70.8	70.4	77.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	43.4	36.9	12.6
計	340	70.5	70.0	76.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	12.2	12.7

設立団体の状況		
人	口(人)	61,147
決算規模(千円)	69,421,915	
標準財政規模(千円)	19,242,836	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,361,052			
1 経常収益	11,360,848			
(1) 医業収益	7,971,551			
(うち修正医業収益)	7,612,400			
入院収益	4,348,121			
外来収益	3,162,405			
診療収入計	7,510,526			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	461,025			
(うち他会計負担金)	359,151			
(2) 医業外収益	3,389,297			
(うち国・都道府県補助金)	1,438,796			
(うち他会計補助・負担金)	765,284			
(うち長期前受金戻入)	1,056,995			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	204			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,600,570			
2 経常費用	10,493,960			
(1) 医業費用	9,928,234			
職員給与費	4,329,718	54.3	60.2	60.7
材料費	1,807,337	22.7	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,098,294	13.8	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	708,340	8.9	11.6	11.7
減価償却費	1,501,893	18.8	9.0	9.2
経費	2,254,987	28.3	22.5	21.2
(うち委託料)	1,225,063	15.4	12.5	11.9
研究研修費	7,784			
資産減耗費	26,515			
(2) 医業外費用	565,726			
(うち支払利息)	23,044	0.3	1.2	1.3
(3) 特別損失	106,610			
損益	866,888			
純損益	760,482			
累積欠損金	6,911,107			
経常収支比率	108.3		105.6	106.9
医業収支比率	80.3		85.1	85.8
修正医業収支比率	76.7		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	14.1		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	9.9		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	97.5		93.6	96.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,805,173
1 固定資産	17,689,681
(1) 有形固定資産	16,326,861
(2) 無形固定資産	12,737
(3) 投資その他の資産	1,350,083
2 流動資産	3,115,492
(1) 現金及び預金	1,296,773
(2) 未収金及び未収収益	1,662,243
(3) 貸倒引当金()	2,446
(4) 貯蔵品	156,816
3 繰延資産	-
負債合計	17,276,915
1 固定負債	3,105,845
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,056,059
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,891
(7) 一ス債務	12,895
2 流動負債	1,113,983
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	221,786
(2) その他の企業債	692
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	355,883
(6) リ一ス債務	20,134
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	508,160
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,057,087
(1) 長期前受金	17,914,081
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,856,994
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,528,258
1 資本金	10,382,809
2 剰余金	-6,854,551
(1) 資本剰余金	125,600
(2) 利益剰余金	-6,980,151
負債・資本合計	20,805,173
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	1,033,329	1,124,435
資本勘定繰入	184,964	385,049
計	1,218,293	1,509,484

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	83.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		気仙沼市			
病院名		気仙沼市立本吉病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	1,902 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	38	53.2	52.3	52.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	38	53.2	52.3	52.7
平均在院日数(一般病床のみ)		22.2	20.9	21.2

設立団体の状況		
人口(人)	61,147	
決算規模(千円)	69,421,915	
標準財政規模(千円)	19,242,836	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	651,849			
1 経常収益	648,866			
(1) 医業収益	421,576			
(うち修正医業収益)	421,576			
入院収益	177,867			
外来収益	214,190			
診療収入計	392,057			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	29,519			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	227,290			
(うち国・都道府県補助金)	1,920			
(うち他会計補助・負担金)	209,708			
(うち長期前受金戻入)	12,860			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,983			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	619,016			
2 経常費用	618,994			
(1) 医業費用	601,667			
職員給与費	373,464	88.6	60.2	86.6
材料費	50,985	12.1	25.3	12.9
(うち薬品費)	18,945	4.5	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,304	6.5	11.6	5.1
減価償却費	26,991	6.4	9.0	12.7
経費	148,978	35.3	22.5	43.7
(うち委託料)	83,874	19.9	12.5	21.5
研究研修費	158			
資産減耗費	1,091			
(2) 医業外費用	17,327			
(うち支払利息)	691	0.2	1.2	1.2
(3) 特別損失	22			
経常損益	29,872			
純損益	32,833			
累積欠損金	81,949			
経常収支比率	104.8		105.6	102.4
医業収支比率	70.1		85.1	63.8
修正医業収支比率	70.1		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	32.3		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	49.7		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	32.2		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	70.9		93.6	68.6

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,805,173
1 固定資産	17,689,681
(1) 有形固定資産	16,326,861
(2) 無形固定資産	12,737
(3) 投資その他の資産	1,350,083
2 流動資産	3,115,492
(1) 現金及び預金	1,296,773
(2) 未収金及び未収収益	1,662,243
(3) 貸倒引当金()	2,446
(4) 貯蔵品	156,816
3 繰延資産	-
負債合計	17,276,915
1 固定負債	3,105,845
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,056,059
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,891
(7) 一時借入金	12,895
2 流動負債	1,113,983
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	221,786
(2) その他の企業債	692
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	355,883
(6) リース債務	20,134
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	508,160
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,057,087
(1) 長期前受金	17,914,081
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,856,994
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,528,258
1 資本金	10,382,809
2 剰余金	-6,854,551
(1) 資本金剰余金	125,600
(2) 利益剰余金	-6,980,151
負債・資本合計	20,805,173
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	209,708	209,708
資本勘定繰入	9,124	9,124
計	218,832	218,832

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	
健全化法上の資金不足額(千円)	83.3
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名 宮城県	
市町村・組合名	登米市		
病院名	登米市立登米市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	18,796 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 災 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	198	77.6	78.1	69.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	77.6	78.1	69.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	18.2	20.5

項目	内容	数値
人口(人)		76,037
決算規模(千円)		47,346,252
標準財政規模(千円)		27,432,229
財政力指数		0.36
経常収支比率(%)		93.2
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
将来負担比率(%)		69.0

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,806,090			
1 経常収益	5,767,786			
(1) 医業収益	4,206,963			
(うち修正医業収益)	3,712,947			
入院収益	2,225,202			
外来収益	1,336,893			
診療収入計	3,562,095			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	644,868			
(うち他会計負担金)	494,016			
(2) 医業外収益	1,560,823			
(うち国・都道府県補助金)	707,395			
(うち他会計補助・負担金)	440,742			
(うち長期前受金戻入)	226,208			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	38,304			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,954,209			
2 経常費用	4,954,209			
(1) 医業費用	4,778,883			
職員給与費	2,834,050	67.4	60.2	66.7
材料費	483,208	11.5	25.3	17.8
(うち薬品費)	206,487	4.9	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	274,227	6.5	11.6	9.2
減価償却費	356,313	8.5	9.0	10.4
経費	1,094,770	26.0	22.5	28.7
(うち委託料)	536,708	12.8	12.5	13.3
研究研修費	6,814			
資産減耗費	3,728			
(2) 医業外費用	175,326			
(うち支払利息)	38,763	0.9	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	813,577			
純損失	851,881			
累積欠損金	12,248,694			
経常収支比率	116.4		105.6	105.7
医業収支比率	88.0		85.1	80.6
修正医業収支比率	77.7		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	16.2		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	22.2		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	16.1		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	97.6		93.6	90.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

区分	決算額
資産合計	11,651,084
1 固定資産	9,814,432
(1) 有形固定資産	9,472,739
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	340,405
2 流動資産	1,836,652
(1) 現金及び預金	742,549
(2) 未収金及び未収収益	1,075,422
(3) 貸倒引当金()	6,488
(4) 貯蔵品	23,455
3 繰延資産	-
負債合計	12,063,712
1 固定負債	8,341,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,557,293
(2) その他の企業債	186,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	330,000
(6) 引当金	2,267,976
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	2,397,090
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	800,713
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	276,720
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	900,000
(8) 未払金及び未払費用	318,752
(9) 前受金及び前受収益	61,391
3 繰延収益	1,325,253
(1) 長期前受金	2,828,928
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,503,675
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-412,628
1 資本	15,416,538
2 剰余金	-15,829,166
(1) 資本剰余金	146,557
(2) 利益剰余金	-15,975,723
負債・資本合計	11,651,084
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	412,628
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	921,471	934,758
資本勘定繰入	308,229	533,189
計	1,229,700	1,467,947

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	558,579	9.5
令和元年度	1,015,963	17.1

項目	数値
累積欠損金比率(%)	265.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	登米市		
病院名	登米市立米谷病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,823 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救輪
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄
指定病院の状況欄

ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	40	59.9	52.7	56.8
療養	50	63.4	77.4	70.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	61.9	66.4	64.2
平均在院日数(一般病床のみ)		22.9	22.0	20.1

設立団体の状況	
人口(人)	76,037
決算規模(千円)	47,346,252
標準財政規模(千円)	27,432,229
財政力指数	0.36
経常収支比率(%)	93.2
健全化	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	-
実質公債費比率(%)	7.1
将来負担比率(%)	69.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,184,782			
1 経常収益	1,181,966			
(1) 医業収益	830,380			
(うち修正医業収益)	769,300			
入院収益	498,746			
外来収益	202,389			
診療収入計	701,135			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	129,245			
(うち他会計負担金)	61,080			
(2) 医業外収益	351,586			
(うち国・都道府県補助金)	22,682			
(うち他会計補助・負担金)	207,085			
(うち長期前受金戻入)	86,183			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,816			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,380,479			
2 経常費用	1,380,479			
(1) 医業費用	1,318,527			
職員給与費	713,705	85.9	60.2	76.8
材料費	71,871	8.7	25.3	14.4
(うち薬品費)	32,714	3.9	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,335	4.6	11.6	6.0
減価償却費	241,584	29.1	9.0	11.4
経費	289,954	34.9	22.5	31.5
(うち委託料)	149,936	18.1	12.5	14.5
研究研修費	1,318			
資産減耗費	95			
(2) 医業外費用	61,952			
(うち支払利息)	15,106	1.8	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常				
純				
損益	-198,513			
純	-195,697			
損益				
累積欠損金	2,724,749			
経常収支比率	85.6		105.6	103.4
医業収支比率	63.0		85.1	74.3
修正医業収支比率	58.3		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	22.7		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	32.3		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	22.6		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	66.2		93.6	79.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,651,084
1 固定資産	9,814,432
(1) 有形固定資産	9,472,739
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	340,405
2 流動資産	1,836,652
(1) 現金及び預金	742,549
(2) 未収金及び未収収益	1,075,422
(3) 貸倒引当金()	6,488
(4) 貯蔵品	23,455
3 繰延資産	-
負債合計	12,063,712
1 固定負債	8,341,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,557,293
(2) その他の企業債	186,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	330,000
(6) 引当金	2,267,976
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,397,090
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	800,713
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	276,720
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	900,000
(8) 未払金及び未払費用	318,752
(9) 前受金及び前受収益	61,391
3 繰延収益	1,325,253
(1) 長期前受金	2,828,928
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,503,675
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-412,628
1 資本	15,416,538
2 剰余金	-15,829,166
(1) 資本剰余金	146,557
(2) 利益剰余金	-15,975,723
負債・資本合計	11,651,084
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	412,628
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	260,677	268,165
資本勘定繰入	78,655	157,308
計	339,332	425,473

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	558,579	9.5
令和元年度	1,015,963	17.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	265.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 宮城県	
市町村・組合名		登米市			
病院名		登米市立豊里病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,119㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	60	62.1	62.5	59.6
療養	30	98.3	98.6	98.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	74.2	74.5	71.6
平均在院日数(一般病床のみ)		28.8	27.1	21.6

人口(人)	76,037
決算規模(千円)	47,346,252
標準財政規模(千円)	27,432,229
財政力指数	0.36
経常収支比率(%)	93.2
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	7.1
将来負担比率(%)	69.0

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,216,014			
1 経常収益	1,215,494			
(1) 医業収益	986,002			
(うち修正医業収益)	940,837			
入院収益	625,357			
外来収益	272,519			
診療収入計	897,876			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	88,126			
(うち他会計負担金)	45,165			
(2) 医業外収益	229,492			
(うち国・都道府県補助金)	5,504			
(うち他会計補助・負担金)	187,566			
(うち長期前受金戻入)	28,990			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	520			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,256,300			
2 経常費用	1,256,300			
(1) 医業費用	1,222,169			
職員給与費	789,655	80.1	60.2	76.8
材料費	88,618	9.0	25.3	14.4
(うち薬品費)	42,575	4.3	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	45,536	4.6	11.6	6.0
減価償却費	74,680	7.6	9.0	11.4
経費	267,158	27.1	22.5	31.5
(うち委託料)	118,213	12.0	12.5	14.5
研究研修費	1,455			
資産減耗費	603			
(2) 医業外費用	34,131			
(うち支払利息)	4,268	0.4	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損失	-40,806			
純損失	-40,286			
累積欠損金	1,002,280			
経常収支比率	96.8		105.6	103.4
医業収支比率	80.7		85.1	74.3
修正医業収支比率	77.0		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	19.1		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	23.6		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	19.1		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	78.2		93.6	79.7

区分	決算額
資産合計	11,651,084
1 固定資産	9,814,432
(1) 有形固定資産	9,472,739
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	340,405
2 流動資産	1,836,652
(1) 現金及び預金	742,549
(2) 未収金及び未収収益	1,075,422
(3) 貸倒引当金()	6,488
(4) 貯蔵品	23,455
3 繰延資産	-
負債合計	12,063,712
1 固定負債	8,341,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,557,293
(2) その他の企業債	186,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	330,000
(6) 引当金	2,267,976
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,397,090
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	800,713
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	276,720
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	900,000
(8) 未払金及び未払費用	318,752
(9) 前受金及び前受収益	61,391
3 繰延収益	1,325,253
(1) 長期前受金	2,828,928
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,503,675
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-412,628
1 資本金	15,416,538
2 剰余金	-15,829,166
(1) 資本金剰余金	146,557
(2) 利益剰余金	-15,975,723
負債・資本合計	11,651,084
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	412,628
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	230,756	232,731
資本勘定繰入	27,909	54,753
計	258,665	287,484

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	558,579	9.5
令和元年度	1,015,963	17.1

累積欠損金比率(%)	265.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名 宮城県	
市町村・組合名	栗原市		
病院名	栗原市立栗原中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	22,277 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	18	指定病院の状況	救臨 感 災 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	269	67.4	68.6	64.8
療養	15	-	9.6	62.3
結核	28	28.0	35.0	33.1
精神	-	-	-	-
感染症	1	-	-	-
計	313	60.3	61.6	61.6
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	15.9	15.8

人口(人)		64,637
決算規模(千円)	45,074,287	
標準財政規模(千円)	27,800,510	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	24.1

区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	6,447,135			
1 経常収益	6,447,135			
(1) 医業収益	5,030,362			
(うち修正医業収益)	4,827,612			
入院収益	3,466,393			
外来収益	1,178,791			
診療収入計	4,645,184			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	385,178			
(うち他会計負担金)	202,750			
(2) 医業外収益	1,416,773			
(うち国・都道府県補助金)	609,571			
(うち他会計補助・負担金)	575,483			
(うち長期前受金戻入)	80,725			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,329,175			
2 経常費用	6,322,452			
(1) 医業費用	6,005,410			
職員給与費	3,189,934	63.4	60.2	60.7
材料費	1,028,373	20.4	25.3	24.9
(うち薬品費)	307,266	6.1	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	721,107	14.3	11.6	11.7
減価償却費	437,488	8.7	9.0	9.2
経費	1,331,826	26.5	22.5	21.2
(うち委託料)	663,265	13.2	12.5	11.9
研究研修費	7,318			
資産減耗費	10,471			
(2) 医業外費用	317,042			
(うち支払利息)	97,775	1.9	1.2	1.3
(3) 特別損失	6,723			
経常損益	124,683			
純損益	117,960			
累積欠損金	6,500,028			
経常収支比率	102.0		105.6	106.9
医業収支比率	83.8		85.1	85.8
修正医業収支比率	80.4		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.1		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	15.5		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	12.1		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	89.7		93.6	96.5

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

区分	決算額
資産合計	13,520,589
1 固定資産	11,291,989
(1) 有形固定資産	11,239,797
(2) 無形固定資産	785
(3) 投資その他の資産	51,407
2 流動資産	2,228,600
(1) 現金及び預金	1,028,802
(2) 未収金及び未収収益	1,145,283
(3) 貸倒引当金()	1,066
(4) 貯蔵品	55,581
(5) 繰延資産	-
負債合計	10,147,370
1 固定負債	7,132,638
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,130,331
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一 負債	2,307
2 流動負債	2,707,975
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	950,677
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	285,966
(6) リ 一 負債	4,606
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	463,874
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	306,757
(1) 長期前受金	640,236
(2) 長期前受金収益化累計額()	333,479
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,373,219
1 資本	12,023,374
2 剰余金	-8,650,155
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-8,650,155
負債・資本合計	13,520,589
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	778,233	778,233
資本勘定繰入	458,615	458,615
計	1,236,848	1,236,848

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

項目	比率(%)
累積欠損金比率(%)	126.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	栗原市		
病院名	栗原市立若柳病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,581 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	60	67.8	53.1	62.4
療養	30	74.2	67.2	75.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	70.0	56.6	65.8
平均在院日数(一般病床のみ)		22.1	19.5	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	64,637	
決算規模(千円)	45,074,287	
標準財政規模(千円)	27,800,510	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(％)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(％)	-
	連結実質赤字比率(％)	-
	実質公債費比率(％)	7.9
	将来負担比率(％)	24.1

損益計算書 (千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,520,028			
1 経常収益	1,520,028			
(1) 医業収益	1,263,018			
(うち修正医業収益)	1,187,432			
入院収益	682,749			
外来収益	439,612			
診療収入計	1,122,361			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	140,657			
(うち他会計負担金)	75,586			
(2) 医業外収益	257,010			
(うち国・都道府県補助金)	25,813			
(うち他会計補助・負担金)	224,177			
(うち長期前受金戻入)	3,565			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,796,294			
2 経常費用	1,795,757			
(1) 医業費用	1,691,526			
職員給与費	964,766	76.4	60.2	76.8
材料費	158,640	12.6	25.3	14.4
(うち薬品費)	93,000	7.4	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	65,640	5.2	11.6	6.0
減価償却費	154,956	12.3	9.0	11.4
経費	387,929	30.7	22.5	31.5
(うち委託料)	200,320	15.9	12.5	14.5
研究研修費	1,359			
資産減耗費	23,876			
(2) 医業外費用	104,231			
(うち支払利息)	42,676	3.4	1.2	1.4
(3) 特別損失	537			
損益				
経常収支比率	84.6		105.6	103.4
医業収支比率	74.7		85.1	74.3
修正医業収支比率	70.2		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	19.7		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	23.7		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	19.7		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	68.0		93.6	79.7

貸借対照表 (千円・％)	
区分	決算額
資産合計	13,520,589
1 固定資産	11,291,989
(1) 有形固定資産	11,239,797
(2) 無形固定資産	785
(3) 投資その他の資産	51,407
2 流動資産	2,228,600
(1) 現金及び預金	1,028,802
(2) 未収金及び未収収益	1,145,283
(3) 貸倒引当金()	1,066
(4) 貯蔵品	55,581
3 繰延資産	-
負債合計	10,147,370
1 固定負債	7,132,638
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,130,331
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	2,307
2 流動負債	2,707,975
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	950,677
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	285,966
(6) リース債務	4,606
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	463,874
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	306,757
(1) 長期前受金	640,236
(2) 長期前受金収益化累計額()	333,479
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,373,219
1 資本金	12,023,374
2 剰余金	-8,650,155
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-8,650,155
負債・資本合計	13,520,589
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	299,763	299,763
資本勘定繰入	138,279	138,279
計	438,042	438,042

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	126.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床
以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	宮城県
市町村・組合名	栗原市		
病院名	栗原市立栗駒病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,954 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業	-	看護配置	20:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄
 指定病院の状況欄
 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	55.0	63.5
療養	45	90.6	70.9	70.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	90.6	61.3	66.4
平均在院日数(一般病床のみ)		-	22.9	23.4

項目	数(人)	金額(千円)
人口	64,637	
決算規模		45,074,287
標準財政規模		27,800,510
財政力指数		0.31
経常収支比率(%)		92.5
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	24.1

区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	716,980			
1 経常収益	713,447			
(1) 医業収益	521,400			
(うち修正医業収益)	453,206			
入院収益	279,726			
外来収益	139,637			
診療収入計	419,363			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	102,037			
(うち他会計負担金)	68,194			
(2) 医業外収益	192,047			
(うち国・都道府県補助金)	12,143			
(うち他会計補助・負担金)	175,106			
(うち長期前受金戻入)	3,746			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,533			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	772,187			
2 経常費用	772,105			
(1) 医業費用	732,615			
職員給与費	446,466	85.6	60.2	86.6
材料費	46,371	8.9	25.3	12.9
(うち薬品費)	22,264	4.3	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,107	4.6	11.6	5.1
減価償却費	56,553	10.8	9.0	12.7
経費	181,380	34.8	22.5	43.7
(うち委託料)	99,926	19.2	12.5	21.5
研究研修費	556			
資産減耗費	1,289			
(2) 医業外費用	39,490			
(うち支払利息)	15,100	2.9	1.2	1.2
(3) 特別損失	82			
経常損	-58,658			
純損	-55,207			
累積欠損金	865,699			
経常収支比率	92.4		105.6	102.4
医業収支比率	71.2		85.1	63.8
修正医業収支比率	61.9		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	34.1		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	46.7		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	33.9		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	60.9		93.6	68.6

区分	決算額
資産合計	13,520,589
1 固定資産	11,291,989
(1) 有形固定資産	11,239,797
(2) 無形固定資産	785
(3) 投資その他の資産	51,407
2 流動資産	2,228,600
(1) 現金及び預金	1,028,802
(2) 未収金及び未収収益	1,145,283
(3) 貸倒引当金()	1,066
(4) 貯蔵品	55,581
(5) 繰延資産	-
負債合計	10,147,370
1 固定負債	7,132,638
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,130,331
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一 借入金	2,307
2 流動負債	2,707,975
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	950,677
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	285,966
(6) リ 一 借入金	4,606
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	463,874
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	306,757
(1) 長期前受金	640,236
(2) 長期前受金収益化累計額()	333,479
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,373,219
1 資 本	12,023,374
2 剰 余 金	-8,650,155
(1) 資 本 剰 余 金	-
(2) 利 益 剰 余 金	-8,650,155
負債・資本合計	13,520,589
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考:
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	243,300	243,300
資本勘定繰入	30,924	30,924
計	274,224	274,224

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

項目	金額(千円)	比率(%)
累積欠損金	865,699	126.9
健全化法上の資金不足額		-
健全化法上の資金不足比率		-
地財法上の資金不足額		-
地財法上の資金不足比率		-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	大崎市		
病院名	大崎市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透1未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	50,178 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	43	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	494	79.6	81.1	84.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	93.7	41.4	0.1
計	500	79.8	80.6	83.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	9.9	9.9

設立団体の状況	
人口(人)	127,330
決算規模(千円)	76,148,181
標準財政規模(千円)	37,842,375
財政力指数	0.49
経常収支比率(%)	91.1
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	6.9
将来負担比率(%)	56.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,473,251			
1 経常収益	23,329,117			
(1) 医業収益	20,718,058			
(うち修正医業収益)	19,823,845			
入院収益	11,811,216			
外来収益	7,212,032			
診療収入計	19,023,248			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,694,810			
(うち他会計負担金)	894,213			
(2) 医業外収益	2,611,059			
(うち国・都道府県補助金)	1,042,010			
(うち他会計補助・負担金)	754,201			
(うち長期前受金戻入)	528,132			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	144,134			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,639,035			
2 経常費用	22,495,074			
(1) 医業費用	21,280,485			
職員給与費	9,324,485	45.0	60.2	54.0
材料費	6,976,111	33.7	25.3	29.9
(うち薬品費)	3,933,251	19.0	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,042,860	14.7	11.6	13.4
減価償却費	1,323,395	6.4	9.0	8.1
経費	3,595,287	17.4	22.5	19.6
(うち委託料)	2,089,999	10.1	12.5	12.7
研究研修費	39,917			
資産減耗費	21,290			
(2) 医業外費用	1,214,589			
(うち支払利息)	171,381	0.8	1.2	1.0
(3) 特別損失	143,961			
損益				
経常収支比率	103.7		105.6	105.8
医業収支比率	97.4		85.1	89.1
修正医業収支比率	93.2		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.0		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	7.0		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	96.4		93.6	97.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,033,955
1 固定資産	23,896,664
(1) 有形固定資産	22,984,983
(2) 無形固定資産	35,820
(3) 投資その他の資産	875,861
2 流動資産	9,137,291
(1) 現金及び預金	4,515,232
(2) 未収金及び未収収益	4,446,638
(3) 貸倒引当金()	12,759
(4) 貯蔵品	188,178
3 繰延資産	-
負債合計	23,940,399
1 固定負債	14,709,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,375,264
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	390,311
(7) 一時借入金	943,678
2 流動負債	3,862,588
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,174,520
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	668,849
(6) リース債務	134,121
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,784,120
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,368,558
(1) 長期前受金	11,105,493
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,736,935
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,093,556
1 資本金	11,069,543
2 剰余金	-1,975,987
(1) 資本剰余金	97,296
(2) 利益剰余金	-2,073,283
負債・資本合計	33,033,955
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,648,414	1,648,414
資本勘定繰入	554,077	554,077
計	2,202,491	2,202,491

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常に
支出される経費(経常経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 宮城県	
市町村・組合名	大崎市				
病院名	大崎市民病院鳴子温泉分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,367 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	40	59.0	53.3	47.0
療養	-	-	-	14.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	59.0	26.7	30.8
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	16.9	22.4

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	76,148,181	
標準財政規模(千円)	37,842,375	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	56.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	823,577			
1 経常収益	821,884			
(1) 医業収益	385,679			
(うち修正医業収益)	345,901			
入院収益	232,860			
外来収益	92,808			
診療収入計	325,668			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	60,011			
(うち他会計負担金)	39,778			
(2) 医業外収益	436,205			
(うち国・都道府県補助金)	3,740			
(うち他会計補助・負担金)	396,720			
(うち長期前受金戻入)	23,624			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,693			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	844,494			
2 経常費用	823,763			
(1) 医業費用	793,050			
職員給与費	454,424	117.8	60.2	86.6
材料費	28,452	7.4	25.3	12.9
(うち薬品費)	11,360	2.9	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,092	4.4	11.6	5.1
減価償却費	97,870	25.4	9.0	12.7
経費	203,175	52.7	22.5	43.7
(うち委託料)	121,897	31.6	12.5	21.5
研究研修費	681			
資産減耗費	8,448			
(2) 医業外費用	30,713			
(うち支払利息)	8,128	2.1	1.2	1.2
(3) 特別損失	20,731			
損益				
経常収支比率			105.6	102.4
医業収支比率			85.1	63.8
修正医業収支比率			82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率			11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率			14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率			11.2	33.3
実質収益対経常費用比率			93.6	68.6

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,033,955
1 固定資産	23,896,664
(1) 有形固定資産	22,984,983
(2) 無形固定資産	35,820
(3) 投資その他の資産	875,861
2 流動資産	9,137,291
(1) 現金及び預金	4,515,232
(2) 未収金及び未収収益	4,446,638
(3) 貸倒引当金()	12,759
(4) 貯蔵品	188,178
3 繰延資産	-
負債合計	23,940,399
1 固定負債	14,709,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,375,264
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	390,311
(7) 一時借入金	943,678
2 流動負債	3,862,588
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,174,520
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	668,849
(6) リース債務	134,121
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,784,120
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,368,558
(1) 長期前受金	11,105,493
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,736,935
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,093,556
1 資本金	11,069,543
2 剰余金	-1,975,987
(1) 資本金剰余金	97,296
(2) 利益剰余金	-2,073,283
負債・資本合計	33,033,955
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	436,498	436,498
資本勘定繰入	32,437	32,437
計	468,935	468,935

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 宮城県	
市町村・組合名		大崎市			
病院名		大崎市民病院岩出山分院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,496 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	40	83.5	86.0	81.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	83.5	86.0	81.9
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	17.2	17.1

設立団体の状況	
人口(人)	127,330
決算規模(千円)	76,148,181
標準財政規模(千円)	37,842,375
財政力指数	0.49
経常収支比率(％)	91.1
健全化 判断比率	
実質赤字比率(％)	-
連結実質赤字比率(％)	-
実質公債費比率(％)	6.9
将来負担比率(％)	56.6

損益計算書 (千円・％)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	870,522				
1 経常収益	852,026				
(1) 医業収益	588,841				
(うち修正医業収益)	552,457				
入院収益	357,087				
外来収益	159,498				
診療収入計	516,585				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	72,256				
(うち他会計負担金)	36,384				
(2) 医業外収益	263,185				
(うち国・都道府県補助金)	11,208				
(うち他会計補助・負担金)	198,439				
(うち長期前受金戻入)	35,333				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	18,496				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	799,205				
2 経常費用	799,138				
(1) 医業費用	775,303				
職員給与費	480,924	81.7	60.2	86.6	
材料費	46,239	7.9	25.3	12.9	
(うち薬品費)	17,372	3.0	13.3	7.1	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,867	4.9	11.6	5.1	
減価償却費	55,331	9.4	9.0	12.7	
経費	191,560	32.5	22.5	43.7	
(うち委託料)	110,700	18.8	12.5	21.5	
研究研修費	671				
資産減耗費	578				
(2) 医業外費用	23,835				
(うち支払利息)	3,516	0.6	1.2	1.2	
(3) 特別損失	67				
損益					
経常収支比率	106.6		105.6	102.4	
医業収支比率	75.9		85.1	63.8	
修正医業収支比率	71.3		82.2	58.5	
他会計繰入金対経常収益比率	27.6		11.3	33.0	
他会計繰入金対医業収益比率	39.9		14.9	56.7	
他会計繰入金対総収益比率	27.0		11.2	33.3	
実質収益対経常費用比率	77.2		93.6	68.6	

貸借対照表 (千円・％)	
区分	決算額
資産合計	33,033,955
1 固定資産	23,896,664
(1) 有形固定資産	22,984,983
(2) 無形固定資産	35,820
(3) 投資その他の資産	875,861
2 流動資産	9,137,291
(1) 現金及び預金	4,515,232
(2) 未収金及び未収収益	4,446,638
(3) 貸倒引当金()	12,759
(4) 貯蔵品	188,178
3 繰延資産	-
負債合計	23,940,399
1 固定負債	14,709,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,375,264
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	390,311
(7) 一ス債務	943,678
2 流動負債	3,862,588
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,174,520
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	668,849
(6) リ一ス債務	134,121
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,784,120
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,368,558
(1) 長期前受金	11,105,493
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,736,935
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,093,556
1 資本金	11,069,543
2 剰余金	-1,975,987
(1) 資本剰余金	97,296
(2) 利益剰余金	-2,073,283
負債・資本合計	33,033,955
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	234,823	234,823
資本勘定繰入	47,848	47,848
計	282,671	282,671

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	9.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	大崎市		
病院名	大崎市民病院鹿島台分院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,728 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	3	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	40	75.8	75.7	74.4
療養	18	84.4	69.2	69.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	78.4	73.7	72.8
平均在院日数(一般病床のみ)		24.9	25.7	24.5

設立団体の状況	
人口(人)	127,330
決算規模(千円)	76,148,181
標準財政規模(千円)	37,842,375
財政力指数	0.49
経常収支比率(%)	91.1
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,046,828			
1 経常収益	1,042,605			
(1) 医業収益	716,464			
(うち修正医業収益)	680,111			
入院収益	429,236			
外来収益	214,947			
診療収入計	644,183			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	72,281			
(うち他会計負担金)	36,353			
(2) 医業外収益	326,141			
(うち国・都道府県補助金)	5,066			
(うち他会計補助・負担金)	283,975			
(うち長期前受金戻入)	22,145			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,223			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,024,197			
2 経常費用	1,023,511			
(1) 医業費用	994,604			
職員給与費	599,211	83.6	60.2	76.8
材料費	64,383	9.0	25.3	14.4
(うち薬品費)	30,436	4.2	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,947	4.7	11.6	6.0
減価償却費	81,741	11.4	9.0	11.4
経費	247,997	34.6	22.5	31.5
(うち委託料)	140,220	19.6	12.5	14.5
研究研修費	685			
資産減耗費	587			
(2) 医業外費用	28,907			
(うち支払利息)	6,598	0.9	1.2	1.4
(3) 特別損失	686			
損益	19,094			
純損益	22,631			
累積欠損金	911,128			
経常収支比率	101.9		105.6	103.4
医業収支比率	72.0		85.1	74.3
修正医業収支比率	68.4		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	30.7		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	44.7		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	30.6		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	70.6		93.6	79.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,033,955
1 固定資産	23,896,664
(1) 有形固定資産	22,984,983
(2) 無形固定資産	35,820
(3) 投資その他の資産	875,861
2 流動資産	9,137,291
(1) 現金及び預金	4,515,232
(2) 未収金及び未収収益	4,446,638
(3) 貸倒引当金()	12,759
(4) 貯蔵品	188,178
3 繰延資産	-
負債合計	23,940,399
1 固定負債	14,709,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,375,264
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	390,311
(7) 一時借入金	943,678
2 流動負債	3,862,588
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,174,520
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	668,849
(6) リース債務	134,121
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,784,120
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,368,558
(1) 長期前受金	11,105,493
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,736,935
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,093,556
1 資本金	11,069,543
2 剰余金	-1,975,987
(1) 資本剰余金	97,296
(2) 利益剰余金	-2,073,283
負債・資本合計	33,033,955
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	316,594	320,328
資本勘定繰入	27,404	27,404
計	343,998	347,732

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	蔵王町				
病院名	蔵王町国民健康保険蔵王病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ト		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,084 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	10	63.7	28.8	74.2
療養	26	37.6	55.9	97.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	36	44.8	48.4	91.3
平均在院日数(一般病床のみ)		32.5	46.7	44.9

設立団体の状況		
人口(人)	11,418	
決算規模(千円)	7,453,699	
標準財政規模(千円)	4,590,899	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	87.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	391,256				
1 経常収益	391,256				
(1) 医療収益	185,564				
(うち修正医療収益)	143,642				
入院収益	76,329				
外来収益	40,630				
診療収入計	116,959				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医療収益	68,605				
(うち他会計負担金)	41,922				
(2) 医療外収益	205,692				
(うち国・都道府県補助金)	4,738				
(うち他会計補助・負担金)	198,399				
(うち長期前受金戻入)	985				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	414,863				
2 経常費用	414,619				
(1) 医療費用	403,462				
職員給与費	236,727	127.6	60.2	86.6	
材料費	18,576	10.0	25.3	12.9	
(うち薬品費)	4,664	2.5	13.3	7.1	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	9,805	5.3	11.6	5.1	
減価償却費	9,821	5.3	9.0	12.7	
経費	137,957	74.3	22.5	43.7	
(うち委託料)	69,627	37.5	12.5	21.5	
研究研修費	138				
資産減耗費	243				
(2) 医療外費用	11,157				
(うち支払利息)	185	0.1	1.2	1.2	
(3) 特別損失	244				
損益					
経常損	-23,363				
純損	-23,607				
累積欠損金	270,658				
経常収支比率	94.4		105.6	102.4	
医療収支比率	46.0		85.1	63.8	
修正医療収支比率	35.6		82.2	58.5	
他会計繰入金対経常収益比率	61.4		11.3	33.0	
他会計繰入金対医療収益比率	129.5		14.9	56.7	
他会計繰入金対総収益比率	61.4		11.2	33.3	
実質収益対経常費用比率	36.4		93.6	68.6	

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)		
区分	決算額	
資産合計	256,342	
1 固定資産	141,021	
(1) 有形固定資産	140,845	
(2) 無形固定資産	176	
(3) 投資その他の資産	-	
2 流動資産	115,321	
(1) 現金及び預金	69,774	
(2) 未収金及び未収収益	43,653	
(3) 貸倒引当金()	-	
(4) 貯蔵品	1,894	
3 繰延資産	-	
負債合計	70,005	
1 固定負債	11,240	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,240	
(2) その他の企業債	-	
(3) 再建債(特例債含む)	-	
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(5) その他の長期借入金	-	
(6) 引当金	-	
(7) 一時借入金	-	
(8) リース債務	-	
2 流動負債	49,270	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,339	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	18,383	
(6) リース債務	-	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	24,548	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	9,495	
(1) 長期前受金	62,737	
(2) 長期前受金収益化累計額()	53,242	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-	
資本合計	186,337	
1 資本	450,244	
2 剰余金	-263,907	
(1) 資本剰余金	6,751	
(2) 利益剰余金	-270,658	
負債・資本合計	256,342	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額()	-	
資本不足額(繰延収益控除後)()	-	
備考		

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	134,726	240,321
資本勘定繰入	7,935	7,935
計	142,661	248,256

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	145.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医療収益とは、医療収益からその他医療収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医療収支比率とは、修正医療収益の医療費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)			都道府県名 宮城県
市町村・組合名	川崎町		
病院名	国民健康保険川崎病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,631 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	30	70.6	66.2	80.6
療養	28	74.9	69.8	88.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	72.7	67.9	84.4
平均在院日数(一般病床のみ)		20.8	19.8	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	8,345	
決算規模(千円)	5,839,388	
標準財政規模(千円)	3,817,980	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	84.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	823,335			
1 経常収益	822,996			
(1) 医業収益	587,293			
(うち修正医業収益)	529,264			
入院収益	311,071			
外来収益	152,416			
診療収入計	463,487			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	123,806			
(うち他会計負担金)	58,029			
(2) 医業外収益	235,703			
(うち国・都道府県補助金)	1,720			
(うち他会計補助・負担金)	211,449			
(うち長期前受金戻入)	17,021			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	339			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	820,751			
2 経常費用	819,492			
(1) 医業費用	789,417			
職員給与費	503,346	85.7	60.2	76.8
材料費	60,108	10.2	25.3	14.4
(うち薬品費)	25,876	4.4	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,339	4.1	11.6	6.0
減価償却費	40,253	6.9	9.0	11.4
経費	184,243	31.4	22.5	31.5
(うち委託料)	95,646	16.3	12.5	14.5
研究研修費	324			
資産減耗費	1,143			
(2) 医業外費用	30,075			
(うち支払利息)	10,259	1.7	1.2	1.4
(3) 特別損失	1,259			
経常損益	3,504			
純損益	2,584			
累積欠損金	1,323,593			
経常収支比率	100.4		105.6	103.4
医業収支比率	74.4		85.1	74.3
修正医業収支比率	67.0		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	32.7		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	45.9		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	32.7		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	67.5		93.6	79.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	935,623
1 固定資産	763,719
(1) 有形固定資産	763,248
(2) 無形固定資産	471
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	171,904
(1) 現金及び預金	40,745
(2) 未収金及び未収収益	115,879
(3) 貸倒引当金()	449
(4) 貯蔵品	2,829
3 繰延資産	-
負債合計	631,358
1 固定負債	259,887
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	149,457
(2) その他の企業債	61,395
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	49,035
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	157,583
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	80,078
(2) その他の企業債	4,657
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,254
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	34,872
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	213,888
(1) 長期前受金	527,407
(2) 長期前受金収益化累計額()	313,519
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	304,265
1 資本金	1,547,546
2 剰余金	-1,243,281
(1) 資本金剰余金	80,312
(2) 利益剰余金	-1,323,593
負債・資本合計	935,623
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	269,478	269,478
資本勘定繰入	50,522	50,522
計	320,000	320,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	225.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	丸森町				
病院名	丸森町国民健康保険丸森病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,360 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	55	65.1	65.2	60.9
療養	35	35.8	42.3	55.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	53.7	56.3	58.8
平均在院日数(一般病床のみ)		26.4	22.7	22.9

設立団体の状況		
人口(人)	12,262	
決算規模(千円)	15,404,154	
標準財政規模(千円)	5,424,830	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	80.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	4.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,263,307			
1 経常収益	1,263,307			
(1) 医業収益	952,929			
(うち修正医業収益)	856,001			
入院収益	454,338			
外来収益	243,307			
診療収入計	697,645			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	255,284			
(うち他会計負担金)	96,928			
(2) 医業外収益	310,378			
(うち国・都道府県補助金)	35,197			
(うち他会計補助・負担金)	227,073			
(うち長期前受金戻入)	18,876			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,179,086			
2 経常費用	1,176,442			
(1) 医業費用	1,118,895			
職員給与費	551,068	57.8	60.2	76.8
材料費	79,999	8.4	25.3	14.4
(うち藥品費)	24,119	2.5	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	54,567	5.7	11.6	6.0
減価償却費	82,063	8.6	9.0	11.4
経費	394,759	41.4	22.5	31.5
(うち委託料)	212,217	22.3	12.5	14.5
研究研修費	1,007			
資産減耗費	9,999			
(2) 医業外費用	57,547			
(うち支払利息)	17,932	1.9	1.2	1.4
(3) 特別損失	2,644			
損益	86,865			
純損益	84,221			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.4		105.6	103.4
医業収支比率	85.2		85.1	74.3
修正医業収支比率	76.5		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	25.6		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	34.0		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	25.6		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	79.8		93.6	79.7

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,928,450
1 固定資産	1,400,779
(1) 有形固定資産	1,400,718
(2) 無形固定資産	61
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	527,671
(1) 現金及び預金	385,080
(2) 未収金及び未収収益	139,877
(3) 貸倒引当金()	1,000
(4) 貯蔵品	3,494
3 繰延資産	-
負債合計	891,309
1 固定負債	577,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	549,786
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	21,486
(7) 一歩償務	5,981
2 流動負債	244,639
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	108,234
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	39,524
(6) リース債務	2,111
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	88,505
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	69,417
(1) 長期前受金	566,224
(2) 長期前受金収益化累計額()	496,807
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,037,141
1 資本金	1,025,352
2 剰余金	11,789
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	11,789
負債・資本合計	1,928,450
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	247,156	324,001
資本勘定繰入	96,498	96,498
計	343,654	420,499

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名 宮城県	
市町村・組合名	涌谷町		
病院名	涌谷町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,569 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	11	指定病院の状況	救 臨 輪
許可公営企業	許可	看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	80	70.2	75.9	73.6
療養	41	81.9	83.8	80.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	121	74.1	78.5	75.8
平均在院日数(一般病床のみ)		21.4	21.2	20.5

設立団体の状況	
人口(人)	15,388
決算規模(千円)	8,343,388
標準財政規模(千円)	5,096,986
財政力指数	0.38
経常収支比率(%)	78.6
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	7.4
将来負担比率(%)	20.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,913,073			
1 経常収益	1,895,315			
(1) 医業収益	1,676,847			
(うち修正医業収益)	1,605,958			
入院収益	814,148			
外来収益	681,216			
診療収入計	1,495,364			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	181,483			
(うち他会計負担金)	70,889			
(2) 医業外収益	218,468			
(うち国・都道府県補助金)	11,527			
(うち他会計補助・負担金)	123,716			
(うち長期前受金戻入)	58,039			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	17,758			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,011,591			
2 経常費用	2,011,591			
(1) 医業費用	1,933,344			
職員給与費	1,093,608	65.2	60.2	66.7
材料費	439,467	26.2	25.3	17.8
(うち薬品費)	351,578	21.0	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	68,636	4.1	11.6	9.2
減価償却費	104,907	6.3	9.0	10.4
経費	292,604	17.4	22.5	28.7
(うち委託料)	155,696	9.3	12.5	13.3
研究研修費	1,191			
資産減耗費	1,567			
(2) 医業外費用	78,247			
(うち支払利息)	9,809	0.6	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-116,276			
純損益	-98,518			
累積欠損金	1,661,103			
経常収支比率	94.2		105.6	105.7
医業収支比率	86.7		85.1	80.6
修正医業収支比率	83.1		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.6		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	10.2		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	84.5		93.6	90.0

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,537,043
1 固定資産	1,214,252
(1) 有形固定資産	1,213,032
(2) 無形固定資産	1,220
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	322,791
(1) 現金及び預金	40,987
(2) 未収金及び未収収益	271,178
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	10,626
3 繰延資産	-
負債合計	1,697,117
1 固定負債	591,107
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	503,067
(2) その他の企業債	66,552
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	21,488
2 流動負債	634,161
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	80,608
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,224
(6) リリース債務	4,488
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	92,841
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	471,849
(1) 長期前受金	1,081,371
(2) 長期前受金収益化累計額()	609,522
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-160,074
1 資本	1,468,843
2 剰余金	-1,628,917
(1) 資本剰余金	32,186
(2) 利益剰余金	-1,661,103
負債・資本合計	1,537,043
不良債務	230,762
実質資金不足額	230,762
資本不足額()	160,074
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	192,696	194,605
資本勘定繰入	50,407	50,407
計	243,103	245,012

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	230,762	13.8
令和2年度	121,110	7.3
令和元年度	238,962	14.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	99.1
健全化法上の資金不足額(千円)	185,399
健全化法上の資金不足比率(%)	11.0
地財法上の資金不足額(千円)	297,314
地財法上の資金不足比率(%)	17.7

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	美里町				
病院名	美里町立南郷病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,899 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	50	70.7	63.4	74.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	70.7	63.4	74.6
平均在院日数(一般病床のみ)		46.3	42.6	41.1

設立団体の状況	
人口(人)	23,994
決算規模(千円)	12,041,081
標準財政規模(千円)	7,365,698
財政力指数	0.42
経常収支比率(%)	84.6
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	6.7
将来負担比率(%)	14.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	758,385			
1 経常収益	758,385			
(1) 医業収益	509,029			
(うち修正医業収益)	472,735			
入院収益	231,642			
外来収益	134,050			
診療収入計	365,692			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	143,337			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	249,356			
(うち国・都道府県補助金)	39,694			
(うち他会計補助・負担金)	178,706			
(うち長期前受金戻入)	29,803			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	706,489			
2 経常費用	706,489			
(1) 医業費用	679,857			
職員給与費	402,643	79.1	60.2	76.8
材料費	59,731	11.7	25.3	14.4
(うち薬品費)	29,104	5.7	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,627	6.0	11.6	6.0
減価償却費	52,364	10.3	9.0	11.4
経費	164,061	32.2	22.5	31.5
(うち委託料)	84,591	16.6	12.5	14.5
研究研修費	224			
資産減耗費	834			
(2) 医業外費用	26,632			
(うち支払利息)	10,228	2.0	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	107.3		105.6	103.4
医業収支比率	74.9		85.1	74.3
修正医業収支比率	69.5		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	28.3		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	42.2		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	28.3		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	76.9		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	932,287
1 固定資産	724,733
(1) 有形固定資産	724,733
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	207,554
(1) 現金及び預金	123,852
(2) 未収金及び未収収益	81,454
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,122
3 繰延資産	-
負債合計	524,046
1 固定負債	150,287
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	150,287
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	166,723
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	99,255
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,725
(6) リース債務	1,128
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	41,273
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	207,036
(1) 長期前受金	432,224
(2) 長期前受金収益化累計額()	225,188
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	408,241
1 資本金	914,820
2 剰余金	-506,579
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-506,579
負債・資本合計	932,287
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	215,000	215,000
資本勘定繰入	60,286	60,286
計	275,286	275,286

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	99.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	女川町		
病院名	女川町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	6,430
決算規模(千円)	14,675,319
標準財政規模(千円)	3,829,918
財政力指数	1.01
経常収支比率(%)	94.3
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,185			
1 経常収益	4,185			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	4,185			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,185			
2 経常費用	4,185			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	76.8
材料費	-	-	25.3	14.4
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	6.0
減価償却費	-	-	9.0	11.4
経費	-	-	22.5	31.5
(うち委託料)	-	-	12.5	14.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	4,185			
(うち支払利息)	4,185	-	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	103.4
医業収支比率	-		85.1	74.3
修正医業収支比率	-		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	79.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	南三陸町		
病院名	南三陸病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ト透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	8,554 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	10	指定病院の状況	救臨 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	40	80.2	71.8	73.8
療養	50	86.3	91.3	95.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	83.6	82.6	85.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	13.0	12.1

設立団体の状況	
人口(人)	12,225
決算規模(千円)	20,394,924
標準財政規模(千円)	5,641,853
財政力指数	0.31
経常収支比率(%)	93.8
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.6
将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,862,656			
1 経常収益	1,862,656			
(1) 医業収益	1,376,159			
(うち修正医業収益)	1,325,159			
入院収益	752,971			
外来収益	484,266			
診療収入計	1,237,237			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	138,922			
(うち他会計負担金)	51,000			
(2) 医業外収益	486,497			
(うち国・都道府県補助金)	2,384			
(うち他会計補助・負担金)	289,000			
(うち長期前受金戻入)	182,443			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,831,975			
2 経常費用	1,831,975			
(1) 医業費用	1,780,965			
職員給与費	878,438	63.8	60.2	76.8
材料費	180,473	13.1	25.3	14.4
(うち薬品費)	53,091	3.9	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	111,643	8.1	11.6	6.0
減価償却費	210,460	15.3	9.0	11.4
経費	510,162	37.1	22.5	31.5
(うち委託料)	242,507	17.6	12.5	14.5
研究研修費	1,377			
資産減耗費	55			
(2) 医業外費用	51,010			
(うち支払利息)	1,921	0.1	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常	30,681			
純	30,681			
累積欠損金	837,777			
経常収支比率	101.7		105.6	103.4
医業収支比率	77.3		85.1	74.3
修正医業収支比率	74.4		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	18.3		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	24.7		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	18.3		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	83.1		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,378,371
1 固定資産	3,859,456
(1) 有形固定資産	3,764,251
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	95,205
2 流動資産	518,915
(1) 現金及び預金	302,992
(2) 未収金及び未収収益	210,459
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	3,966
3 繰延資産	-
負債合計	4,429,754
1 固定負債	142,255
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	142,255
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	198,572
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,400
(2) その他の企業債	40,554
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	1,765
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	112,853
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,088,927
(1) 長期前受金	5,953,978
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,865,051
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-51,383
1 資本金	758,644
2 剰余金	-810,027
(1) 資本剰余金	27,750
(2) 利益剰余金	-837,777
負債・資本合計	4,378,371
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	51,383
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	340,000	340,000
資本勘定繰入	2,646	36,964
計	342,646	376,964

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	60.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	白石市外二町組合		
病院名	公立刈田総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ 訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	26,164 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	19	指定病院の状況	救 感 災 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	199	44.8	44.5	60.6
療養	-	-	-	-
結核	4	17.3	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	28.6	27.3	-
計	207	43.9	43.6	59.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	12.9	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	2,708	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(‰)	101.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(‰)	-
	連結実質赤字比率(‰)	-
	実質公債費比率(‰)	-
	将来負担比率(‰)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,327,653			
1 経常収益	3,293,549			
(1) 医業収益	2,776,736			
(うち修正医業収益)	2,499,236			
入院収益	1,244,966			
外来収益	1,104,540			
診療収入計	2,349,506			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	427,230			
(うち他会計負担金)	277,500			
(2) 医業外収益	516,813			
(うち国・都道府県補助金)	294,879			
(うち他会計補助・負担金)	172,245			
(うち長期前受金戻入)	16,833			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	34,104			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,142,753			
2 経常費用	4,109,891			
(1) 医業費用	3,823,822			
職員給与費	1,985,968	71.5	60.2	64.0
材料費	324,894	11.7	25.3	19.9
(うち薬品費)	82,912	3.0	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	241,982	8.7	11.6	9.6
減価償却費	385,102	13.9	9.0	9.9
経費	1,123,350	40.5	22.5	28.4
(うち委託料)	595,424	21.4	12.5	13.7
研究研修費	1,819			
資産減耗費	2,689			
(2) 医業外費用	286,069			
(うち支払利息)	135,089	4.9	1.2	1.3
(3) 特別損失	32,862			
損益	-816,342			
純損益	-815,100			
累積欠損金	16,661,634			
経常収支比率	80.1		105.6	104.2
医業収支比率	72.6		85.1	81.4
修正医業収支比率	65.4		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	13.7		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	16.2		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	13.5		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	69.2		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,628,973
1 固定資産	5,188,867
(1) 有形固定資産	5,163,988
(2) 無形固定資産	2,029
(3) 投資その他の資産	22,850
2 流動資産	2,440,106
(1) 現金及び預金	1,807,699
(2) 未収金及び未収収益	578,663
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	53,744
3 繰延資産	-
負債合計	10,581,924
1 固定負債	7,590,670
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,872,712
(2) その他の企業債	2,117,600
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	600,000
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	358
2 流動負債	2,467,162
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	567,886
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	170,207
(6) リース債務	18,891
(7) 一時借入金	1,320,000
(8) 未払金及び未払費用	367,169
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	524,092
(1) 長期前受金	1,314,830
(2) 長期前受金収益化累計額()	790,738
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,952,951
1 資本金	13,678,893
2 剰余金	-16,631,844
(1) 資本剰余金	1,050
(2) 利益剰余金	-16,632,894
負債・資本合計	7,628,973
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,952,951
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,428,859
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	490,843	449,745
資本勘定繰入	262,681	962,681
計	753,524	1,412,426

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	198,007	5.9
令和元年度	341,486	7.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	600.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	黒川地域行政事務組合		
病院名	公立黒川病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	10,029 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 へ
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	110	66.2	54.4	56.2
療養	60	71.3	70.0	72.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	68.0	59.9	62.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	13.8	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	2,078,699	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	201,423			
1 経常収益	198,116			
(1) 医業収益	10,000			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	10,000			
(うち他会計負担金)	10,000			
(2) 医業外収益	188,116			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	143,877			
(うち長期前受金戻入)	43,344			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,307			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	923,131			
2 経常費用	875,448			
(1) 医業費用	838,990			
職員給与費	4,665	46.7	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	220,173	2201.7	9.0	10.4
経費	611,988	6119.9	22.5	28.7
(うち委託料)	575,111	5751.1	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	2,164			
(2) 医業外費用	36,458			
(うち支払利息)	36,458	364.6	1.2	1.3
(3) 特別損失	47,683			
損益	-677,332			
純損益	-721,708			
累積欠損金	4,239,294			
経常収支比率	22.6		105.6	105.7
医業収支比率	1.2		85.1	80.6
修正医業収支比率	-		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	77.7		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	1538.8		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	76.4		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	5.1		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,672,612
1 固定資産	3,595,158
(1) 有形固定資産	3,250,658
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	344,500
2 流動資産	77,454
(1) 現金及び預金	28,066
(2) 未収金及び未収収益	22,888
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,208,697
1 固定負債	1,352,822
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	991,355
(2) その他の企業債	260,929
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	83,571
(6) 引当金	16,967
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	363,589
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	349,938
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	6,429
(5) 引当金	6,974
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	172
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	492,286
(1) 長期前受金	853,976
(2) 長期前受金収益化累計額()	361,690
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,463,915
1 資本金	5,703,209
2 剰余金	-4,239,294
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-4,239,294
負債・資本合計	3,672,612
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	54,054	153,877
資本勘定繰入	214,646	343,555
計	268,700	497,432

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42392.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	加美郡保健医療福祉行政事務組合		
病院名	公立加美病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	7,804 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	40	77.4	71.2	71.6
療養	50	81.3	74.1	87.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	79.6	72.8	80.5
平均在院日数(一般病床のみ)		22.2	17.4	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	862,517	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(‰)	98.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(‰)	-
	連結実質赤字比率(‰)	-
	実質公債費比率(‰)	-
	将来負担比率(‰)	-

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	1,366,569				
1 経常収益	1,366,569				
(1) 医業収益	968,053				
(うち修正医業収益)	915,362				
入院収益	603,366				
外来収益	190,340				
診療収入計	793,706				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	174,347				
(うち他会計負担金)	52,691				
(2) 医業外収益	398,516				
(うち国・都道府県補助金)	17,767				
(うち他会計補助・負担金)	299,574				
(うち長期前受金戻入)	80,204				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,322,607				
2 経常費用	1,322,607				
(1) 医業費用	1,265,119				
職員給与費	758,285	78.3	60.2	76.8	
材料費	93,518	9.7	25.3	14.4	
(うち薬品費)	23,896	2.5	13.3	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	67,531	7.0	11.6	6.0	
減価償却費	85,751	8.9	9.0	11.4	
経費	322,975	33.4	22.5	31.5	
(うち委託料)	176,492	18.2	12.5	14.5	
研究研修費	826				
資産減耗費	3,764				
(2) 医業外費用	57,488				
(うち支払利息)	21,115	2.2	1.2	1.4	
(3) 特別損失	-				
損益	43,962				
純損益	43,962				
累積欠損金	1,886,409				
経常収支比率	103.3		105.6	103.4	
医業収支比率	76.5		85.1	74.3	
修正医業収支比率	72.4		82.2	70.1	
他会計繰入金対経常収益比率	25.8		11.3	23.0	
他会計繰入金対医業収益比率	36.4		14.9	34.1	
他会計繰入金対総収益比率	25.8		11.2	22.9	
実質収益対経常費用比率	76.7		93.6	79.7	

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,770,179
1 固定資産	1,480,514
(1) 有形固定資産	1,480,075
(2) 無形固定資産	439
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	289,665
(1) 現金及び預金	144,855
(2) 未収金及び未収収益	134,909
(3) 貸倒引当金()	2,477
(4) 貯蔵品	12,378
3 繰延資産	-
負債合計	2,024,720
1 固定負債	929,367
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	829,367
(2) その他の企業債	100,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	310,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	166,931
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	51,548
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	92,146
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	784,728
(1) 長期前受金	2,229,945
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,445,217
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-254,541
1 資本金	1,551,720
2 剰余金	-1,806,261
(1) 資本金剰余金	80,148
(2) 利益剰余金	-1,886,409
負債・資本合計	1,770,179
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	254,541
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	326,135	352,265
資本勘定繰入	101,054	160,363
計	427,189	512,628

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	27,938	3.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	194.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	みやぎ県南中核病院企業団		
病院名	みやぎ県南中核病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	26,364 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	34	指定病院の状況	救臨へ災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	310	74.2	71.3	75.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	310	74.2	71.3	75.2
平均在院日数(一般病床のみ)		9.6	9.9	9.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,892,509			
1 経常収益	10,892,434			
(1) 医業収益	9,328,452			
(うち修正医業収益)	8,641,935			
入院収益	5,612,807			
外来収益	2,758,129			
診療収入計	8,370,936			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	957,516			
(うち他会計負担金)	686,517			
(2) 医業外収益	1,563,982			
(うち国・都道府県補助金)	1,137,935			
(うち他会計補助・負担金)	266,000			
(うち長期前受金戻入)	61,927			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	75			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,577,956			
2 経常費用	10,571,246			
(1) 医業費用	9,920,921			
職員給与費	5,307,980	56.9	60.2	60.7
材料費	2,199,392	23.6	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,152,541	12.4	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,046,851	11.2	11.6	11.7
減価償却費	529,476	5.7	9.0	9.2
経費	1,822,867	19.5	22.5	21.2
(うち委託料)	1,081,692	11.6	12.5	11.9
研究研修費	22,190			
資産減耗費	39,016			
(2) 医業外費用	650,325			
(うち支払利息)	148,235	1.6	1.2	1.3
(3) 特別損失	6,710			
損益	321,188			
純損益	314,553			
累積欠損金	15,026,629			
経常収支比率	103.0		105.6	106.9
医業収支比率	94.0		85.1	85.8
修正医業収支比率	87.1		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.7		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	10.2		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	8.7		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	94.0		93.6	96.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,212,340
1 固定資産	7,932,496
(1) 有形固定資産	7,864,176
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	68,320
2 流動資産	2,279,844
(1) 現金及び預金	328,137
(2) 未収金及び未収収益	1,880,560
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	71,147
3 繰延資産	-
負債合計	10,882,098
1 固定負債	6,461,723
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,211,645
(2) その他の企業債	250,077
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	1
2 流動負債	2,941,857
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	913,348
(2) その他の企業債	19,871
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	291,166
(6) リース債務	3,300
(7) 一時借入金	1,000,000
(8) 未払金及び未払費用	714,172
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,478,518
(1) 長期前受金	2,333,496
(2) 長期前受金収益化累計額()	854,978
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-669,758
1 資本	14,334,909
2 剰余金	-15,004,667
(1) 資本剰余金	21,962
(2) 利益剰余金	-15,026,629
負債・資本合計	10,212,340
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	669,758
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	983,265	952,517
資本勘定繰入	538,885	827,131
計	1,522,150	1,779,648

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	688,596	8.1
令和元年度	946,312	11.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	161.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。